

平成18年  
(2006)



# 志報きかい

# 10

発行/鹿児島県喜界町役場 ㊟891-6292 電話0997-65-1111 編集/企画課 印刷/南日本新聞開発センター

No. 472

## 町村合併50周年記念

あの日  
あの頃



石垣を抱いてそびえるガジュマルの木の上は、子ども達の絶好の遊び場。学校から帰るとカバンを縁側に放り投げ、真っ暗になるまで遊んでいました。(昭和33年=荒木)

## ~ 昭和30年代初期の 子ども達の遊び ~

フラフープが大流行したのもこの頃。(昭和34年=荒木)

写真提供 = 窪島田鶴子氏 (鹿児島市在住)



# 特 集

## しまぬ「水の循環」

### 喜界の水を科学する

水は生命の源です。  
 水は、陸、海、空と行き来し、形状は常に変化しながら「循環」しています。  
 全ての生き物に不可欠な水に関する情報の特集二回目は、「水の現状」を紹介します。

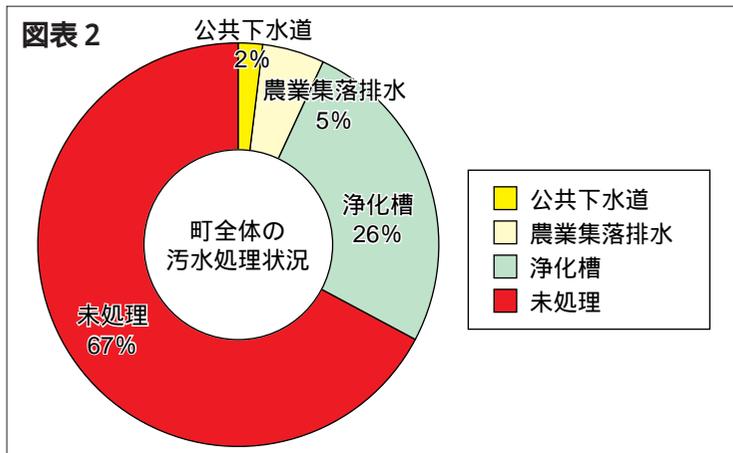
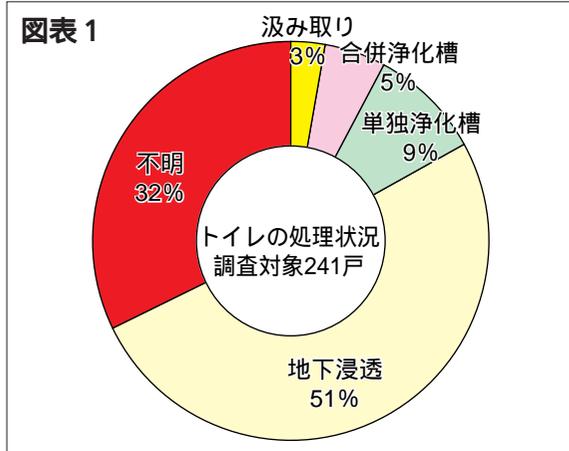
#### 利用できる水はわずか0.01%

地球規模で考えると地球上には、およそ十四億キロ立方メートルの水があるとされています。そのうち九七・五%は海水で、淡水(氷河・地下水・川・湖など)は残りの二・五%だけ。淡水の大部分は南極や北極などの氷河であり、地

下水や河川水などは地球上の水の〇・八%です。さらに、そのほとんどは地下水として存在しており、比較的に利用し

#### 利用された水の行方

私たちが、台所、トイレ、風呂、洗濯などに使う水の量は一人一日約二五〇リットルとされています。喜界島の場合、生活排水として家庭などから流れ出ていく水は、約三割程しか浄化されず、大半が海へと流れ出ています。



(図表1) トイレの処理状況を町内二百四十一件を対象に調査したところ、約半数が地下浸透で処理していることがわかりました。

(図表2) 地下浸透方式は喜界島特有のトイレで、便器は水洗

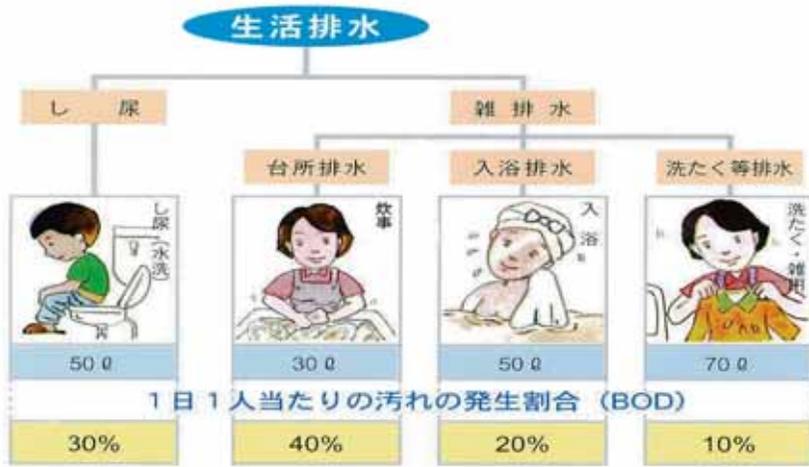
であり一見するときれいに見えますが、コンクリートの便槽の底は筒抜けになって便所等の汚物を含んだ汚水はそのまま地下水へと流れ込んでいくのが実態と考えられます。

(図表2) 生活排水として家庭などから流れ出ていく水は、約三割程しか浄化されず、大半が海へと流れ出ています。

総合的な学習の時間部長/真辺照男阿伝小学校長

子どもに教えるため、あるいは調べ・まとめさせるためには、まず教師自身が学ぶ必要がある。教科領域等教育方法研修会「総合的な学習の時間」部会では、そういうねらいのもとに喜界水質浄化センターを視察した。顕微鏡を覗き込むとさかんに微生物が動き回っており、私たちの出した生活排水を浄化してくれていた。また、立派な施設ができあがっており、係の方から各施設の説明を丁寧にしていただいた。よりよく理解するにはまず自分の体で感じ、考えることが大切だと思ふ。環境保全に向けて、各学校でもこの立派な施設を学習におおいに活用していただけたらと感じた。

町水質浄化センターの研修を終えて



人がどれだけ水を汚したかの発生割合（BOD）を一日一人当たりで見てもみましよう。（資料＝環境省）

**BOD**

水の汚れの度合いを表す指標として、水中の酸素を微生物がどれくらい使うかという量をあらわします。従って割合が高いほど水が汚れていることとなります。

**汚れた水はこうしてきれいになります**

**水質浄化に活躍する微生物**

自然界には有機物などの汚濁物質を分解する微生物が数多く存在し、自然の浄化作用を担っています。海や川に汚れた水が少しくらい流れ込んでも、きれいになるのは浄化作用が働くからです。

微生物からみると水中の汚れは栄養分であり、微生物も私たちと同じように

栄養分と酸素を必要とします。水中の酸素が少なくなると悪臭などの主な原因につながるわけです。

**下水道と**

**浄化槽の役割**

私たちの家の台所、トイレ、風呂、洗面所などから出る生活排水や事業所からの排水は、浄化槽の場合には直接家庭内に設置された浄化槽内部へ流入し、下水道の場合には下水管を通して集められて浄化センターへ運ばれます。下水処理場と浄化槽の内部では、微生物が浄化能力を

発揮しやすい生育環境を人工的に作って自然界より効率よく汚れを取り除き、水をきれいな水にして海へと流します。島の処理場方式（微生物の働き）には場所によって違いがあります。荒木・志戸桶・

**私たちにできる生活排水対策**

前述のように「水は循環」しています。古来島で守られてきた水を未来の喜界島を担う子どもたちに引き継がなければなりません。いつまでも「島の水はきれい」と安全・安心な水であるよう、環境保全に本気に取り組んでいきましょう。

**下水道への早期接続を**

下水道の加入率は、依然低位で推移しています。（「広報きかい」平成十八年七月号）

水道法により下水道が整備された地域では、接続や水洗トイレへの改造を行うよう決まっています。下水道地域の方々は工事を速やかに、清潔で快適な生活環境を確保していきましょう。

**浄化槽（合併処理型）を設置しましょう/設置補助制度**

浄化槽は、し尿と生活排水を併せて処理でき、海などに

赤連の処理場では微生物が処理槽内を自由に泳いで汚水を処理するのに対し、城久の処理場では微生物が一カ所にとどまって流れてくる汚水を処理します。方式の違いは、施設によって汚水の処理量が異なることによりあります。

放流される汚れの量が単独処理型の八分の一となり、下水道と同等の効果が期待できます。既設の浄化槽（単独処理型）は、なるべく早く合併処理型の浄化槽に交換しましょう。

また、町は環境保全を強く押し進めており、「浄化槽設置時の補助」を設けています。下水道の接続および浄化槽の設置補助に関するお問い合わせ

**浄化センター、農業集落排水施設、合併処理浄化槽**

～管理者の生の声～  
施設・浄化槽に流入して処理機能を低下させている生活排水（し尿・雑排水）以外の物のうち、特に多い流入物は次のとおりです。

- 生理用品・歯間ブラシ・ポールペン・輪ゴム・しょうゆ入

れ（弁当などに入っているもの）、避妊用具、使用済みの多量の油、酸性の強い洗剤（年末など家の大掃除の際には特に注意）、布、木片。

わせは水環境課まで。  
☎65・11111 内線77  
～家庭でできる  
自然への思いやり～



使い古したてんぷら油などは、微生物の大敵とされています。水に流さないようにしましょう



米のとぎ汁は、植木などへ



油汚れは、ふき取ってから洗いましょう

し尿・雑排水以外の物が流入すると微生物等の浄化機能が低減します。し尿・雑排水以外は流さないようご協力をお願いします。

# 「五つカメ」の陶磁器が仲間入り

## 町指定有形文化財に新登録

町教育委員会は、町文化財保護審議会（上原慶三郎会長）の答申を受け、小野津集落に伝わる「五つのカメ」伝承にまつわる陶磁器を、九月二十六日付けで町指定文化財に指定した。町指定文化財は今回の陶磁器（三点）を加え、有形文化財が合計二十点、民俗文化財や天然文化財などを含めると四十五点が登録されていることになる。

指定したのは「青磁刻花紋

水注（せいじこつかもんすいちゆう）」「褐釉双耳注口付壺（かつゆうそうじちゆうこつつきつぽ）」「須恵器双耳長胴瓶（すえきそうじちようどうへい）」の陶磁器三点。いずれも島外から持ち込まれたもので、一〇〇年前後に生産されており、全国でも出土例が少なく、資料的価値は高い」と評価されている。

町教育委員会は指定までの経緯を「小野津集落の八幡神社境内にある『五つ』のカメの陶磁器（三点）のうち一点（青磁刻花紋水注）が、越州窯系の水注で非常に貴重なものであることを京都光華女子大学の百瀬正恒氏や太宰府市教育委員会（福岡県）の中島恒次郎・山村信榮両氏など、

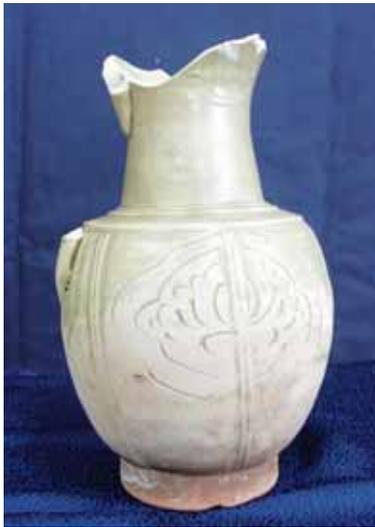
数人の研究者が指摘した」、

### 青磁刻花文水注（1点）

中国・浙江省の、いわゆる越州窯において、宋代に生産されたものである。時期については、11世紀後半～12世紀前半と考えられる。

口縁部・注ぎ口・把手は欠損しているが、残存高20.5cm、復元器高22cm前後と推定できる。（推定口径：10cm、胴径：13.1cm、底径：7.9cm）

胴部に縦方向に瓜稜双線を削りだし、6区画にわけ各々に施文している。特に対面する区画内には瓜稜双線をはさんで、二重線で木瓜文形の輪郭をつくり、その内部に牡丹花ないし菊花文を大きく施文している。高台内（底部外面）に目跡が付着している。



の亀井明德氏は、「城久遺跡群との関連から喜界島にも大

### 須恵器双耳長胴瓶（1点）

口縁は欠損しているが、盤口に開く形態である。胴部は最大径を上半に持ち、そこに著しく退化した両耳を貼り付けている。胴部全体に、横方向の条痕のタタキ調整の痕がみられる。（胴径最大：約22cm、底径：約14cm、残存器高：約33cm程度）

産地や年代については確実な情報は得られていないが、鹿児島県南さつま市金峰町の窯で生産された可能性を指摘する見解や北部九州（佐賀県）で似た形態の出土事例があり、それから、11世紀後半～12世紀と考えられる。



世に伝えていくべきものである」と話している。

きな政治権力が存在していた可能性がさらに高まった」と解説している。（写真）の解説は亀井氏の見解（同審議会は「現地（小野津）に保存されてきたことの意味は大きい。『五つ』のカメのうち残り二つの陶磁器についても所在を早急に明らかにするとともに、陶磁器を地域伝承とともに語り継ぎ、大切に後世に伝えていくべきものである」と話している。

### 褐釉双耳注口付壺（1点）

現在、口縁を欠損する胴部上半と下半部のふたつに分かれている。頸部は直立しその肩との境に幅1.5cmの縦耳を対に付けている。胴部は中位に最大径をもつが、かなり壺になっている。肩に注口基部の孔があげられている。（胴径最大：21.1cm、底径：9.1cm、器高：25cm程度）

中国産褐釉陶器とみられ、福建省福州付近の窯の製品と考えられる。年代については、類例が少なく確実な情報は出せないが、博多遺跡群では11世紀には類似した形態の資料があり、11世紀～12世紀前半代の可能性がある。



# 農家の労力削減目指して

## ヤンマーがゴマ脱粒機を開発



町営農支援センターで行われた実演では天日干しされたゴマをローラーに投入、揺動で振り分けられたゴマはとうみをもって殻とゴマに分別。ゴマは設置された袋に収まり殻は昇降機で排出された。参加者らは実際に脱穀後の殻を

炎天下の労力軽減を目ざしてゴマの脱粒機開発に乗り出しているヤンマーが九月七・十三の両日、町営農支援センターなどで脱粒の実証・実演会を行った。実演には、加藤啓雄町長や町議会議員、JAあまみの関係者、農家らが見学に訪れ、新しく開発された機械を注意深く観察、機能性などを確認した。



この機械は、既存のそば脱穀機の改良型で、昨年から実証し、今回、揺動の網を細かくするなど四力所に改良を加えた。

# 一般の採捕は禁じられています

## 奄美地区で違法採捕の事例報告

「シラヒゲウニ」  
最近、奄美地区において一般の人が違法にシラヒゲウニを採捕している事例報告がある。

町漁業関係者は、「喜界においては、現在のところこのような問題が発生したという

採捕後のウニ殻の放置等、処理に関する問題が発生しており、県大島支庁商工水産課は「ウニ殻処理」の注意を促している。

公金を取り扱う指定金融機関の開業式が九月一日、あまみ農業協同組合喜界町役場派出所前（収入役室前）で行われた。加藤啓雄町長や乾和夫町議会議長、井上吉偉組合長（JAあまみ）らが開所を祝い、公金取扱の「安全性・正確性」の発展に期待した。

# 効率と安全・正確性に期待

指定金融機関 町民への利便性を開業式 図るため、町コミュニケーションセンターホール一角には自動現金受払機も設置されている。



挨拶を受けて井上組合長は「業務開始を祝い今後の円滑な業務の推進を図り、喜界町の経済の発展のために、JAあまみも頑張っていく」と述べた。

手に取り、成果品に手応えを感じた様子だった。  
産業振興課の吉岡強補佐は「約五十％脱穀するのに約一時間半で作業は可能と見ている。今後は、効率性、機能性をもったこの機械を利用し、農家の労力削減を図りたい」と改良点を高く評価、町でも購入を視野に入れている。

苦情などの連絡は受けていない」と話す。  
本来、シラヒゲウニの採捕は県知事が各漁協へ許可した共同漁業権の内容で、漁協が認められた者のみ捕獲できる。捕獲の権利を持つていない者でも時期以外は捕獲することができないとなっている。

五千個）ほど、生活排水が流れ込んでこない海藻が生い茂る沿岸地域を選んで、シラヒゲウニ種苗の放流事業を展開している。  
漁業関係者は「シラヒゲウニは島にとって貴重な水産資源。組合員の高齢化が進み漁業形態も変わっていくなかで、今後は、ウニなどの栽培漁業にも力を入れていきたい」と述べた。

町建設課は「水産資源管理型漁業が最重視される中、喜界島周辺海岸に昔から大量に生息していたウニが絶滅状況にある」として、年二回（約

漁業権のお問い合わせは、喜界島漁業協同組合（65）0249へ。ウニ殻は一般廃棄物の取扱になるため、廃棄については役場住民課（65）1111へお問い合わせを。

# TOWN まちの話題 News

## 安来節に笑いの渦 早町集落で敬老会



「ださい」と元気よく激励の言葉を贈り、余興が始まった。少林寺拳法の演武や島唄、洋舞「フラメンコ」、一条流の日本舞踊など多彩な演芸が繰り広げられる中、八十五歳になる敬老者の親族二人が面をつけて「安来節」を披露。軽妙な手足の動きひとつひとつに会場は笑いの渦。

### (五十周年で気持ちも新たに)

敬老の日の九月十八日、島内の集落公民館などで敬老会が開かれた。島では、敬老の日が正月のどちらか一方で祝賀会が行われているが、この日は早町集落や小野津集落などで集落民が一斉に集い、共に敬老を祝った。

早町集落(高島純也区長)では、この日も集落外の踊り手や子どもたちが賑やかな楽しい出し物を披露した。まず、地元の保育園児五人がいっつもでも元気で長生きしてく

曲が終わった途端、面をつけた二人は一瞬にして舞台を去った。高島区長は「合併五十周年の記念すべき年に、このように祝宴を盛り上げてくださった集落の方々に感謝します。また、幾多の変遷を歩み続けてこられた敬老者の皆さん、今後とも健康にご留意ください。先輩方のご指導を頂きながら、早町地区の益々の発展願いつつ、さらに盛り上げていきたい」と力強く語っていた。



全国喜界会連合会(乾善人会長)から町へ浄財(約十万円)が届けられた。

## 空港周辺に竜舌蘭植栽 全国喜界会連合会の浄財で

「島のために何かしたい。島から失われつつある物を、植樹のような後世に残る形で」との同会の働きかけに、町はかつては空港周辺にたくさんあった町の花「竜舌蘭」を希望。早速、空の玄関口である喜界空港周辺に竜舌蘭二百本を植栽した。島の景勝地スギラビーチや沿岸周辺に新たな情緒を醸し出してくれることだろう。

によって再捕獲された。羽には「9/15(九月十五日)」「SRT270」「のつべ」と書かれており、この記録からすると、わずか半月足らずで長野県から喜界島まで約千二百キロを飛んできたことになる、島の愛蝶家として知られる福島誠さん(中里)は「長野県大町市の『のつべ山荘』でマーキングされたものでは」と話している。



蝶にマーキングをしたこと。このこと。「マーキングされた蝶を再捕獲した場合、貴重な移動生態が解明できる」として、福島さんは蝶の画像などの情報提供を募っている。

として全国放送されるなど最近、話題を呼んでいる。福島さんによると、海を渡る謎の生態等の解明を進めるため、全国の愛好家が蝶にマーキングされていること。このこと。「マーキングされた蝶を再捕獲した場合、貴重な移動生態が解明できる」として、福島さんは蝶の画像などの情報提供を募っている。

百之台の滝川林道でマーキングされたアサギマダラが九月二十九日、伊地知役場職員

## アサギマダラ長野から帰る

### マーキング蝶を再捕獲/滝川林道

電子メール/makoto\_f@posynapse.ne.jp



額に流れる汗をぬぐいながら、農道に生い茂る草を刈払機等で払い、二日にわたる清掃で車道は見違えるほど広くなり、安全性も高まった。

### 農道を

#### ボランティア清掃

喜界島自衛隊通信所(黒崎浩一所長)の隊員三十人が、通信施設に隣接する農道で九月十一・十二の両日、ボランティア清掃を行った。農道川城線施設周辺に集まった隊員らは「視界が悪く非常に危険だ。ここを通る車が少しでも安全に走行できるように」と作業を始めた。

# 自分の歯で快適な毎日

## 8020運動で三人を表彰



守って大事にしてきました、豊さんと村上さんは「食べ物に注意しながら一日三回、朝、昼、夜と歯みがきを怠らずやっています」と丈夫な歯の持ち主らしく笑顔で応えてくれた。

町保健師は「歯が健康であれば、よく噛むことができるため全身の抵抗力が高まり、肥満防止にも繋がる。また、脳への血液の循環を促し、脳細胞の活動も活発になる。健康で快適な毎日を送るため、自分の歯を大切にしましよ」と呼び掛けた。

「八十歳になっても自分の歯を二十本以上保ち、生涯を通じて自分の歯で豊かな食生活を楽しもう」と厚生労働省、日本歯科医師会が展開している8020運動。今年も町内の歯科医師から推薦を受けた三人が県と郡の歯科医師会から表彰を受け、加藤啓雄町長から賞状と記念品が伝達された。

表彰を受けたのは高橋一男さん(83・嘉鈍)、村上國信さん(80・上嘉鉄)、豊トミ工さん(80・羽里)。高橋さんは二十一本、村上さんは二十三本、豊さんは二十二本の歯を保有。

高橋さんは「言い伝えを

# 健康増進に役立てて 大福電設が車イス寄贈



者の方々の健康増進に役立てていただきたい」と入園者に車イスを手渡し、続いて第一保育所の園児ら約二十人が「いつまでも元気でいてください」と入園者一人ひとりに花束を手渡した。神田園長は「入園者に配慮いただき感謝しています。入園者、職員ともに有効に使わせていただきます」と感謝の言葉を述べた。

敬老の日を前に鹿児島市の大福電設(株)(高牟禮哲博代表取締役)と第一保育所の園児ら二十人が九月十五日、特別養護老人ホーム喜界園(神田健一園長)を訪れ、車イス三台と花束を贈って、入園者を激励した。

最初に同社の社員が「入園

同社の車イス寄贈は今年で三回目、延べ九台。また、夏から冬にかけて独居老人宅の無料電気点検を行うなど、高齢者化社会におけるボランティア活動も展開している。

# 喜界島の食材(薬草)を学ぶ

## 第三回奄美ミューシウム シアム人材育成塾

第三回奄美ミューシウム人材育成塾が九月十五日、中央公民館旧館ホールで開かれ、塾生等約六十人が参加した。講師は、喜界島の薬草に詳しい獣医師の高坂嘉孝先生が務めた。

塾では参加者全員がハーギー(ミツバハマゴウ)のハーブティーを作ることから始まり、島の食材を使ったスープ、カレー(ハマカブラ)のスープ、冬瓜のそぼろあんかけ(花良た。塾ではほかにモモギ茶や柿の葉茶などに優しいお茶の紹介や、食べられる薬草や危険な植物の説明もあり、参加者は喜界島にある体に良い食材(薬草)の知識だけでなくおいしい料理も詰め込み、有意義なひとときを過ごした。

# 身体にいいことしてますか？

第1回喜界町ウォーキング大会を11月25日(土)午後3時から空港臨海公園で行います。当日は健康チェックやウォーキングの指導も予定しております。

事前の申し込みはいりませんので参加希望者はスギラビーチへお集まり下さい。

潮風を浴びながらみんなでウォーキングを楽しんでみませんか？

問い合わせ先

すこやかセンター 電話 65 - 3522

# お知らせ

11月は

「不法投棄防止強化月間」

県では、産業廃棄物の不法投棄等の根絶を図るため、今年から11月を「不法投棄防止強化月間」と定め、不法投棄防止の普及・啓発や産業廃棄物の不法投棄防止パトロール等を強化しています。

不法投棄は重大な犯罪です。不法投棄をなくし住みよい町をつくりましょう。

また、産業廃棄物の不法投棄を発見した際は、お近くの保健所または県庁産業廃棄物・リサイクル対策課の産廃不法投棄110番までご連絡ください。

問い合わせ先

県庁産業廃棄物・リサイクル対策課  
☎099(286)2579  
名瀬保健所  
☎(53)7474

11月は「文化芸術に親しむ月間」～「県民一人一文化芸術」に親しみましょう～

文化芸術には、感性に訴

え、人々に感動を与え、創造や表現へと向かわせる力があります。心身の健康に寄与するものであることも科学的に実証されるようになってきました。

また、文化芸術活動は観光資源となったり産業と結びついて経済を活性化させたりするなど、魅力ある社会づくりを推進する力を持っています。

この期間をきっかけに、日常生活の中で文化芸術の創作活動を始めたり、身近な文化祭や展覧会などを鑑賞してみませんか。

問い合わせ先・関連ホームページ

県庁生活・環境課  
☎099(286)2514  
メールアドレス：mailto:seido@pref.kagoshima.lg.jp

11月は「乳幼児突然死症候群(SIDS)対策強化月間」

乳幼児突然死症候群(SIDS)は、それまで元気だった赤ちゃんが、事故や窒息ではなく、眠っている間に突然死亡してしまう病気です。

12月以降の冬場に発生する傾向が高いことから、国では11月を強化月間と定め、発生の予防に対する普及啓発を重

**保育所運営法人(= 民営化)を募集**

町では、多様化する一方の保育需要に柔軟に対応するために第一保育所及び第三保育所を社会福祉法人に移管する計画を進めています。

**申込資格**  
町内の社会福祉法人(新規設立を含む)を優先する

**申込期限**  
平成18年12月8日(金)午後5時まで

**お問い合わせ** 喜界町役場保健福祉課

点的に行うこととしています。

発症原因はまだ分かっていませんが、以下の3点を守ることが明らかになっています。

赤ちゃんを寝かせるときは、あおむけ寝にしましょう。  
妊娠中や赤ちゃんの周囲で、煙草を吸わないようにしましょう。

できるだけ母乳で育てましょう。  
大切な赤ちゃんの命を守るために、母親だけでなく周囲の方々もご協力をお願いします。

問い合わせ先  
県庁子ども課 099・286・2775

☎099(286)2775

## 保健師だより

国保係では、人間ドックの申込を受け付けています。申し込みは保健福祉課国保係まで

対象：六十歳未満の国保被保険者

実施病院：県立大島病院

内容：一泊二日

自己負担額

男性：一八三二五円

女性：二〇六二五円

「ぼけ」でも安心して暮らせる社会を

現在、全国で認知症の方は一七〇万人。二〇一五年には二五〇万人に達すると言われています。身近なところで起こりうる問題です。

症状が進むと介護するご家族の負担も大きくなります。もし認知症になっても安心して暮らせる喜界島にならういですね。

**認知症早期発見のめやす**

**物忘れがひどい**  
今切った電話の相手を忘れる。同じことを何度も言う。貴重品・衣類などを盗まれたと人を疑う。

**判断・理解力の衰え**

料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなる。新しいことが覚えられない。話しのつじつまが合わない。

**時間・場所がわからない**

約束を間違えるようになった。慣れた道でも迷う。

**人柄が変わる**

怒りっぽくなった。周りへの気遣いがなく頑固になった。自分の失敗を人のせいにする。

**不安が強い**

一人になると怖がりたり寂しがたりする。外出時、何度も持ち物を確かめる。「頭が変になつた」と訴える。

**意欲がなくなる**  
下着を替えず身だしなみを構わなくなった。好きなことに興味を示さなくなった。ふさぎ込んで何をやるもの億劫がる。

早期に発見して対応すれば以後の生活が変わります。いくつか思い当たることがあれば専門医を受診してみてください。

「ご相談はすこやかセンターまで。」

## 石綿業務に従事した離職者に対する特別健康診断事業

### 1 目的

過去に石綿を製造し、または取り扱う作業に従事し、事業場の廃業等何らかの理由により石綿健康診断を受診できない退職者に対して、**無料**で健康診断を実施することにより健康管理を図るものです。

### 2 対象者

石綿を製造し、または取り扱う作業に従事して退職した方で、以下の全ての項目を満たしている方。

従事していた作業が特定できること。

初回ばく露から10年以上経過していること。

以前石綿作業に従事していた事業場が廃業や倒産、退職者に対する健康診断を拒否等の理由で石綿健康診断を受診できない状況にあること。

石綿に係る健康管理手帳を所有していないこと。

### 3 問い合わせ先、申請場所

\* (社) 鹿児島県労働基準協会 鹿児島労働衛生センター  
(鹿児島市東開町4-96 電話099-267-6292)

\* (財) 鹿児島県民総合保健センター

(鹿児島市下伊敷3-1-7 電話099-220-2332)

\* 申請に際し、事前に申請書を入手し、申請者本人が記入してください。

### 4 申請書の受付期間

平成18年11月1日(水)～11月17日(金)

(受付を行い、その後、健診を実施します。)

鹿児島労働局労働基準部安全衛生課 (電話099-223-8279)

「家庭教育テレホンサービス」で心の荷物おろしませんか？  
しつけや家族関係・友人関係、情緒・性格・性・子育てに関する不安や悩みなどの相談に応じます。秘密は厳守さ

れ、必要に応じて、専門の臨床心理士によるカウンセリングも受けられます。気軽にお電話ください。  
電話相談  
☎099(287)5345  
相談日時

暮らしの案内役「町防災無線」の放送内容をメールで配信するサービスについて先月号(p12)でお知らせした際、「登録はパソコンのみで行う」とが出来るようになったというところが、今回新たに携帯電話からも行うことができるとなりました。携帯電話にメール配信の登録を行う場合

暮らしの案内役「町防災無線」の放送内容をメールで配信するサービスについて先月号(p12)でお知らせした際、「登録はパソコンのみで行う」とが出来るようになったというところが、今回新たに携帯電話からも行うことができるとなりました。携帯電話にメール配信の登録を行う場合

火曜日～日曜日 午前9時30分～午後5時(祝日・年末年始除く)  
月曜日が祝日の場合は、その日実施し、火曜日が休みとなります。  
上記以外の時間帯は留守電・FAXで対応します。  
カウンセリング(無料)  
原則として毎月第1・第3火曜日午後  
予約制(随時受付)

## お詫びと訂正

先月号7Pのゴミ指定袋の「燃えるゴミ」と「燃えないゴミ」のタイトルが逆になっていました。下記の通り訂正してお詫びいたします。

燃えないゴミ



使用する袋は「赤色」。集落名・氏名を必ず書いてください。

燃えるゴミ



使用する袋は「黄色」。集落名・氏名を必ず書いてください。

## あなたの「もしや?」が子どもを救う

11月は児童虐待防止推進月間です。「おかしい」と感じたり、児童虐待を発見したときは、大島児童相談所(☎53・6070)、喜界福祉事務所(☎65・0114)、役場保健福祉課(☎55・3484)、に相談(通告)してください。(通告は義務≠権利)  
あなたも児童虐待防止ネットワークの一員です。

は下記の携帯専用URLにアクセスして行うようにしてください。  
<http://www.town.kikai.jp/>  
『喜界町』携帯情報サービス  
☎(65)1111  
4 防災無線放送選択  
詳しい設定方法などは町企画課へお問い合わせください。

# 教育委員会のとびら

## 球の動きに一喜一憂 夏休みに「青少年ふるさと大会」



悲願の初優勝を果たした中里チーム  
……  
て交流を深めることで、自主性・創造性・連帯性を培い、進んでふるさとづくりに参画し、郷土を興す青少年の育成が目的。お盆時期に実施していることもあり、帰省者を含め二百人余りが参加しました。

男子はソフトボール競技に

- ・ 優勝 中里
- ・ 第2位 佐手久
- ・ 第3位 嘉手浦A
- ・ 第3位 湾B
- ・ 第3位 湾
- ・ 優勝 赤連
- ・ 第2位 湾
- ・ 第3位 中里
- ・ 第3位 嘉手浦A

## 黒潮探検隊！2006が特別企画講演会

特定非営利活動法人くすの木自然館と教育委員会の共催で「学びの風」興しの一環として、「沈みゆく島国ツバル」地球温暖化を珊瑚の島で考える」という演題の講演会を開きました。

写真家でNGOツバルオーバビュー日本事務局代表でもある遠藤秀一氏を講師に招き、オセアニアの9つの島々ツバルの文化や生活、同国が直面している地球温暖化による海面上昇の被害が紹介されました。



赤連チームが2年ぶりのV

町子ども会育成連絡協議会主催の四大大行事の一つ「青少年ふるさと大会」を八月十三日、開催しました。  
今回で三十回を数える同大会は、異なる年齢層の中・高校生・青年がスポーツを通して

## さらなる向上を目指して

### 平成18年度生涯学習リーダー（初級）研修会

各種団体指導者として必要な知識・技能を習得し、資質向上を図るとともに地域における各団体活動のさらなる充実と活性化を図るため、生涯学習リーダー研修会を開きました。

今回の対象は、少年団体成人指導者・PTA指導者・女性教育指導者で、十三人の参加がありました。

参加者の感想  
一日がかりの研修で大変だ  
という思いで参加したのですが、講義、レクリエーション、KYT（危険予知トレーニング）、ニュースポーツなど、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。真のリーダーとは第一に心の温かさ、第二に若々しさと謙虚さ、第三に厳格さと実践力を兼ね備えた人。少しでも頑張っていた。



楽しそうに講義を受ける参加者

きたいと思えます。研修の機会をいただき、有り難うございました。

## 実践していますか？

第4分科会  
豊かな心を育む文化活動部会

各集落のリーダーを中心に組織を作り、八月踊りの伝承を实践します。

### 喜界町生涯学習推進大会 第4分科会実践事項

これから集落行事（島遊び）で八月踊りを踊る機会が増えます。家族そろって参加し、地域全体で八月踊りを伝承する気運を高めましょう。

# わが家のアイドル



とよ しま こう た  
豊 島 弘 太  
りよう ちゃん(3歳)  
良 太 ちゃん(11カ月)

父 = 正美  
母 = 由美子  
赤連

弟を見るとついつい意地悪をしたくなるお兄ちゃんでも、良太が病気で元気がなかった時、優しい弘太でした。これからどんだん大きくなるあなたたちは、いろいろなる事を経験するでしょう。その中で困った時、お互いに助け合える兄弟になってくれたらいいなと願っています。(父・母)

## 喜界歌壇

百日紅さくすべりいろ薄れつつおもむろに揺れて晩夏の寂けさに在り  
 林 蓮香  
 九月来て浮きつ沈みつ我が見入る水面みなもの月もいたく揺れをり  
 平尾 チヨ  
 金色に染まりし西の空見つめて我がて我が行く黄泉よみの里思つ潮鳴りて島は秋立つ  
 北島 シナ  
 屋良 ミノ  
 九月四日敬老祝い頂きぬ福祉国家とふ世に生かされて  
 安の世の節句を思ふ  
 美代 イシ  
 美代 イシ

限りとて競い鳴く蟬人吾に燃ゆるものなく季は移りゆく  
竹田ヨシ子

しら雲は月の光に動かされ遺跡の山の秋ぞ長けゆく  
郡 市子

帰省せし子等去りひとりなる我を励まし囀る九月の鳥は  
弥島 幸子

病窓に蜻蛉あきつの群れの飛び交いて九月なかばは退院間近  
武田 幸子

祖先みおやらのねむる薩摩の奥津城に佇ちて巡りの草に手を触る  
嶺倉 祝子

## 戸籍の窓

9月届出

こんにちは  
赤ちゃん

氏名 保護者 住所  
 藤村 静香 昭次 上嘉鉄  
 佐藤 高太郎 貴紀 上嘉鉄

いつまでも  
お幸せに

千田 和典 湾  
 旭 ゆりか 手久津久  
 喜田 友晃 塩道  
 瀬戸 あゆみ 阿伝

ごめい福を  
お祈りします

## 目指せ

笑顔輝く  
元気な喜界っ子

3歳児健診(平成18年8月30日)でむし歯のなかったお友達です。

第3回目



森本 大志くん



幸福 聡悟くん



榮山 亮くん

## 社協だより

香典返し

滝川	荒木	中里	上嘉鉄湾	白水	白嘉鉄	赤連	上嘉鉄	城久	赤連	浦原	上嘉鉄湾	福村ヨシ子
佐倉	輝	渡久地	中江	下島	福島喜代一	吉山	豊島	井上スミ子	輝	川島富美子	實田伊津美	福村ヨシ子
藤男	富則	康一郎	誠宏	初美	福島喜代一	静乃	元秀	賀永	寶賞	賀永	賀永	賀永
						53才	83才	89才	78才	78才	98才	65才

.....喜界町の推計人口.....  
(平成18年9月31日現在)

世帯数	.....3,770戸 (-4)
人口	.....8,503人 (-13)
男	.....4,000人 (-15)
女	.....4,503人 (+2)
	( )は前月比

今回の統計は平成17年国勢調査速報値の算出基礎の変更による



練習の成果を披露する鼓笛隊（上嘉鉄小）

# 秋たけなわ！

町内小・中学校  
運動会カメラルポ



決まったネ！二中創設以来初の応援舞いを披露（第二中）

創立百二十周年。園児らも堂々の入場行進（荒木小）



孫の応援に体まで弾むおばあちゃん（志戸桶小）

3年1組見事に新記録達成（第一中）



創立110周年で幼児も全員参加（坂嶺小）  
太鼓の音が場内に響きわたる（湾小）

ゴールフィニッシュが決まっているネ（阿伝小）



創立百周年。地域を挙げて大会を盛り上げる（小野津小）



後ろはまだ来てない？（滝川小）



台風14号通過中も熱戦が続く（早町中）

疾走（早町小）  
ガジュマルのアーチを

